

令和2年度土木学会賞（技術賞Ⅱグループ） 「千本ダム堤体補強工事」

受賞名：令和2年度土木学会賞(技術賞Ⅱグループ)
プロジェクト名：千本ダム堤体補強工事

技術賞

Ⅱグループ（土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクト）



（プロジェクト名）千本ダム堤体補強工事

島根県松江市上下水道局
一般財団法人ダム技術センター
中電技術コンサルタント株式会社
株式会社大林組

（選定理由）

千本ダム堤体補強工事は、ダム健全度調査において、地震時の安定性に懸念があることが判明したため、ダム堤体の耐震補強を全面的に実施したものである。

千本ダムは、建設後約100年が経過した今も島根県松江市の水道用水の1/4を供給し続けており、表面が石積み式の風情ある佇まいにより国指定の登録有形文化財に指定されるなど歴史的価値が高い構造物でもある。このため、ダムとしての機能を維持しながら、文化遺産としての景観も損なわずに、早期に補強する必要があった。

既存の工法では、これらの課題に十分対応できないため、国内初の「堤体PSアンカーを適用したダム堤体の耐震補強工法」を採用した。さらに、老朽化した堤体や細長い堤頂部を考慮したプレグラウトによる補強、フルボンド方式を活かした緊張力の頭部負担軽減、計測管理や、今後100年を見据えた耐久性向上のための2重防食と施工仕様の高度化など、技術面からもこれら課題に対応した。一方、その美しい景観を望みやすいようにユニバーサルデザインに配慮した周辺整備にも取り組んだ。

このように、老朽化が進む歴史的価値がある構造物に対し、機能を維持しながら、景観を損ねず、早期に安価に耐久性や耐震性を向上させる新たなリニューアル手法を確立し、地域社会へも安全安心を与えた。文化遺産として市民に親しまれる環境を整備するなど、地域への貢献度も高い。これらが高く評価され、技術賞に値するものとして認められた。

令和2年度土木学会賞（技術賞Ⅱグループ） 「千本ダム堤体補強工事」

受賞名：令和2年度土木学会賞（技術賞Ⅱグループ）
プロジェクト名：千本ダム堤体補強工事

表彰状

島根県松江市上下水道局 殿
一般財団法人ダム技術センター 殿
中電技術コンサルタント株式会社 殿
株式会社 大林組 殿
千本ダム堤体補強工事

右に対し技術上画期的な業績を讃え
土木学会規則により令和二年度
土木学会技術賞を贈ります

令和三年六月十一日

公益社団法人土木学会

会長 家田

仁
